

学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

H29.9.26(火) NO.11
尼崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



空襲で全焼

浜国民学校

創立記念日 10月2日 浜小学校 創立69周年

今年、浜小学校は創立して69周年にあたります。

浜小学校の前身は昭和15年に尼崎市立浜尋常小学校として開校しました。翌16年に尼崎市立浜国民学校と改称。戦禍の広がり懸念される中、19年には第1次学童集団疎開が始まり、20年には全員が集団疎開したそうです。場所は兵庫県の北部の氷上郡(当時)のであったそうです。現在はそのほとんどが丹波市市島町となっています。

昭和20年6月15日の午前10時頃、尼崎の浜近辺に空襲がありました。児童は疎開をしていたため、被害にあった児童はいませんでした。校舎は全焼となりました。同年8月に終戦を迎え、11月には次々と集団疎開から引き揚げてきましたが、学校はありません。ついに11月30日には廃校となり、児童は下坂部小学校、杭瀬小学校に分散して、入学しました。

その後、多くの方々の労力と支援があり、**昭和23年7月1日に「尼崎市立浜小学校」として復校し、同年10月2日に開校式を挙げる。**以後、浜小学校はこの日を創立記念日としています。**今年、復校創立69周年となります。**

戦災で全焼した学校ですが、廃墟の中から立ち上がり、地域、保護者、行政、学校が一体となって復校に力を注がれました。それから69年の年月が経過しました。まさしく**不撓不屈**の精神が浜小学校の歴史と伝統に脈々と受け継がれています。今年の10月2日は、体育大会の代休日で学校はお休みになりますが、学校の復校に努力された先人、これまで浜小学校を支えてくださった皆さんの努力に感謝するとともに、心より創立記念日をお祝いしたいと思います。そして、これからもひとりひとりが浜小学校と地域に愛着と誇りを持つことができるよう願っています。**※不撓不屈(ぶとうふくつ)…強い意志を持ってどんな苦労や困難にもくじけないこと**



昭和26年頃 当時の木造校舎

「浜っ子 みんなの笑顔と元気で、感動をとどけよう」

いよいよ、体育大会に向けて最後の週になりました。土曜日の天候が気になるころですが、どの学年も練習に熱が入り、仕上げの段階に入っています。今年のスローガンは「浜っ子 みんなの笑顔と元気で、感動をとどけよう」です。その言葉通り、子ども達は、仲間と共に、練習を積み重ね、ひとつひとつができたときの喜びを満面の笑顔で表現しています。ご覧いただく皆さんに感動をとどけることができるようひとりひとりががんばっています。体育大会当日に向けて、ご家庭でも励ましの言葉をかけていただけるとありがたいです。



今年も各学年がリズムや組体操、団体競技、リレー等に力を出し切ります。また、応援団もみんなと一緒に力を出し切ります。どうぞご家庭の皆様も子ども達のがんばりに精一杯の応援をしていただき、浜っ子の体育大会をご一緒に楽しんでいただければと思います。

中庭に咲いてます。

彼岸花(ヒガンバナ)

日本の秋の代表的な花のひとつです。秋のお彼岸のころに咲くため、「彼岸花」と呼ばれていますが、「曼珠沙華(マンジュシャゲ)」とも「リコリス」とも呼ばれることもあります。特徴的な花なので、一度は目にされた方も多いかなと思います。以前は田んぼのあぜ道などにたくさん咲いているのをよく見かけました。近頃は、尼崎ではそんな光景に出会うこともなくなってきました。

彼岸花は、花が咲いたあとに葉が伸びてくる珍しい植物です。不吉なイメージを持つ人もいますが、赤い彼岸花の花言葉は「情熱」「独立」「再開」と決して悪いものばかりではないようです。白や黄色の彼岸花もあり、球根から育ってきます。

浜小学校の中庭にも、咲いています。ご来校の折には、一度探してみてください。



ホームページではカラーでご覧いただけます。

<校歌と校章>

浜小学校 校章



土地に因んで図案を採択したものです。

2	青空高く 煙立ち 正気みなぎる 小墾田野 文化の泉 汲みいでて 浜の鏡の くもりなく 雄々しく 励み つとめつ 栄えある子らと 進まなん	1	武庫の山並み 松清く 流れゆたけき 神崎の 古跡のゆかり 咲きにおう 学びの庭の 若草よ 強く正しく 健やかに 幸ある子らと 生い立てり
---	---	---	---

作詞 : 西田 春一(第四代校長)
作曲 : 津田 貞臣

浜小学校 校歌

昭和三〇年 制定